

令和7年度山梨県普及センターだより（12月号）

「県オリジナル品種「サンシャインレッド」の早期普及と品質向上」

峡東地域普及センター

峡東地域普及センターでは、「サンシャインレッド」の現地実証ほを管内2ヶ所に設置して早期普及と品質向上技術の検討に取り組んでいる。

「サンシャインレッド」は、県果樹試験場が育成した皮ごと食べられる赤色の2倍体品種で、マスカット香を有し食味に優れる注目品種である。しかし、果房上部の果梗が伸びやすく、果粒が密着した房型になりにくいという課題がある。加えて、短梢剪定栽培では、花穂が着きにくく、着房数の確保が懸念される。

そこで、房型などの果実品質の向上を目指して、長梢剪定栽培では展葉10枚時の植物成長調整剤の効果について検討した。また、短梢剪定栽培では2芽剪定による果実品質への影響等について調査した。

本年度の結果では、長梢剪定栽培では、植物成長調整剤処理により密着した房型になる傾向がみられた。また、短梢剪定栽培では、2芽剪定することにより、花穂着生は問題なく、果房上部の密着程度もある程度よくしまった房型になることが確認できた。

これらの結果について、営農指導員と情報を共有しながら次年度の栽培指導に活かすとともに、今後も検討を継続していく予定である。



長梢剪定栽培の現地実証ほ場



短梢剪定栽培の果実品質調査

（上：第2芽、下：第1芽）